

# 四半期報告書

(第39期第1四半期)

自 平成22年4月1日

至 平成22年6月30日

**曾田香料株式会社**

東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移 .....	1
2 事業の内容 .....	2
3 関係会社の状況 .....	2
4 従業員の状況 .....	2

### 第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況 .....	3
2 事業等のリスク .....	4
3 経営上の重要な契約等 .....	4
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 .....	5

第3 設備の状況 .....	6
----------------	---

### 第4 提出会社の状況

1 株式等の状況 .....	6
2 株価の推移 .....	7
3 役員の状況 .....	7

### 第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表 .....	9
2 その他 .....	18

第二部 提出会社の保証会社等の情報 .....	19
-------------------------	----

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年8月9日
【四半期会計期間】	第39期第1四半期（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）
【会社名】	曾田香料株式会社
【英訳名】	Soda Aromatic Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中地 俊朗
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」 で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町2番3号(本社事務所)
【電話番号】	03（5645）7340
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門長 中島 直文
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第39期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第38期
会計期間	自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
売上高(千円)	3,773,693	4,294,625	16,117,693
経常利益(千円)	202,045	373,492	1,021,665
四半期(当期)純利益(千円)	109,070	214,349	565,239
純資産額(千円)	11,869,576	12,469,719	12,296,989
総資産額(千円)	18,798,937	18,870,872	18,286,971
1株当たり純資産額(円)	1,170.64	1,225.42	1,209.60
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	10.91	21.44	56.54
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	62.2	64.9	66.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	283,341	233,270	2,264,742
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	△530,963	△139,323	△771,187
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	409,913	△169,438	△650,092
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	2,928,995	3,532,790	3,604,701
従業員数(人)	410	409	412

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成22年6月30日現在

従業員数（人）	409
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、含まれておりません。

### (2) 提出会社の状況

平成22年6月30日現在

従業員数（人）	295	(34)
---------	-----	------

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、当第1四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 (%)
調合香料事業 (千円)	1,833,064	—
合成香料・ケミカル事業 (千円)	1,661,544	—
海外事業 (千円)	457,048	—
報告セグメント計 (千円)	3,951,657	—
その他 (千円)	—	—
合計 (千円)	3,951,657	—

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 連結会社間の取引が複雑で、生産高を正確に把握することは困難なため、概算値で表示しております。

#### (2) 受注状況

当第1四半期連結会計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期 (%)
調合香料事業	2,169,221	—	353,722	—
合成香料・ケミカル事業	1,332,877	—	130,177	—
海外事業	425,546	—	29,363	—
報告セグメント計	3,927,645	—	513,263	—
その他	309,770	—	30,837	—
合計	4,237,415	—	544,101	—

(注) 金額は販売価格で表示しております。

#### (3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 (%)
調合香料事業 (千円)	2,156,727	—
合成香料・ケミカル事業 (千円)	1,364,837	—
海外事業 (千円)	458,379	—
報告セグメント計 (千円)	3,979,945	—
その他 (千円)	314,680	—
合計 (千円)	4,294,625	—

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

#### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

##### (1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国向けを中心とした輸出増による回復基調を続けておりますが、雇用・所得環境は依然厳しい状況下であり、設備投資の回復も緩やかなものとなっております。また足元の円高傾向や欧州の財政危機の世界経済への影響等、経済環境の先行きは依然不透明な状況にあります。

香料業界におきましても、不況による最終製品の消費低迷や消費者の低価格志向を背景とした製品価格の低下により、国内市場の売上は伸び悩んでおります。

このような状況下、当社グループは収益改善に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化してまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間は、合成香料・ケミカル事業の販売量回復とそれに伴う工場の稼働率向上に加え、中国を中心とする海外事業での販売増も寄与し、売上高は4,294百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益は378百万円（同65.0%増）、経常利益は373百万円（同84.9%増）、四半期純利益も214百万円（同96.5%増）となりました。

なお、セグメント別では、フレグランスとフレーバーの調合香料事業の売上高は2,156百万円、合成香料・ケミカル事業の売上高は1,364百万円、海外事業の売上高は458百万円、その他の売上高は314百万円となりました。

##### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して71百万円減少し、3,532百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは93百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は233百万円（前年同四半期は283百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が371百万円、減価償却費が148百万円となり、また法人税等の支払額が188百万円となったこと及びたな卸資産の増加130百万円などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は139百万円（前年同四半期は530百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出86百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は169百万円（前年同四半期は409百万円の獲得）となりました。これは、借入金の減少100百万円と配当金の支払い59百万円及び少数株主への配当金の支払い9百万円によるものです。

##### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

##### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、236百万円であります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。



### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

### 第4【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,400,000
計	34,400,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成22年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成22年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	大阪証券取引所 (JASDAQ市場)	(注)
計	10,000,000	10,000,000	—	—

(注)平成22年5月10日開催の取締役会の決議により、平成22年7月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成22年4月1日～ 平成22年6月30日	—	10,000	—	1,490,000	—	1,456,855

(6)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握していません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成22年6月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 3,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 9,992,000	9,992	—
単元未満株式	普通株式 5,000	—	—
発行済株式総数	10,000,000	—	—
総株主の議決権	—	9,992	—

② 【自己株式等】

平成22年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
曾田香料株式会社	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号	3,000	—	3,000	0.03
計	—	3,000	—	3,000	0.03

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年4月	5月	6月
最高 (円)	670	638	580
最低 (円)	600	570	570

(注) 最高・最低株価は、大阪証券取引所 JASDAQ 市場におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び前第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び前第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,532,790	3,604,701
受取手形及び売掛金	4,872,752	4,292,542
商品及び製品	1,367,168	1,160,668
仕掛品	1,314,177	1,523,073
原材料及び貯蔵品	1,275,515	1,136,815
その他	336,552	306,763
貸倒引当金	△18,783	△14,270
流動資産合計	12,680,172	12,010,294
固定資産		
有形固定資産	※1 4,651,935	※1 4,753,423
無形固定資産	※2 107,507	※2 114,747
投資その他の資産	1,431,255	1,408,504
固定資産合計	6,190,699	6,276,676
資産合計	18,870,872	18,286,971
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,429,095	1,909,470
短期借入金	600,000	400,000
未払法人税等	162,653	212,864
賞与引当金	178,360	374,206
役員賞与引当金	2,868	8,979
その他	923,645	638,983
流動負債合計	4,296,623	3,544,504
固定負債		
長期借入金	100,000	400,000
退職給付引当金	1,796,360	1,819,678
役員退職慰労引当金	104,298	113,190
その他	103,871	112,608
固定負債合計	2,104,530	2,445,477
負債合計	6,401,153	5,989,982

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	9,280,638	9,126,267
自己株式	△2,361	△2,361
株主資本合計	12,225,132	12,070,761
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	105,856	114,347
繰延ヘッジ損益	1,193	△760
為替換算調整勘定	△82,292	△92,627
評価・換算差額等合計	24,757	20,959
少数株主持分	219,829	205,268
純資産合計	12,469,719	12,296,989
負債純資産合計	18,870,872	18,286,971

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	3,773,693	4,294,625
売上原価	2,587,398	2,939,890
売上総利益	1,186,294	1,354,735
販売費及び一般管理費	※1 956,647	※1 975,830
営業利益	229,647	378,904
営業外収益		
受取利息	587	2,460
受取配当金	4,315	9,092
その他	2,305	5,181
営業外収益合計	7,208	16,734
営業外費用		
支払利息	4,240	1,462
債権売却損	240	—
休止固定資産減価償却費	25,408	19,198
その他	4,920	1,485
営業外費用合計	34,810	22,146
経常利益	202,045	373,492
特別損失		
固定資産除却損	1,496	2,228
特別損失合計	1,496	2,228
税金等調整前四半期純利益	200,549	371,263
法人税等	※2 87,018	※2 137,736
少数株主損益調整前四半期純利益	—	233,527
少数株主利益	4,459	19,177
四半期純利益	109,070	214,349

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	200,549	371,263
減価償却費	170,043	148,358
のれん償却額	4,090	4,090
固定資産除却損	1,496	1,713
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,236	4,313
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△212,486	△196,026
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,385	△6,111
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△93,717	△32,209
受取利息及び受取配当金	△4,903	△11,553
支払利息	4,240	1,462
売上債権の増減額 (△は増加)	△192,282	△564,940
たな卸資産の増減額 (△は増加)	90,301	△130,628
仕入債務の増減額 (△は減少)	96,697	508,224
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	487,841	322,375
その他	28,300	△4,510
小計	575,024	415,822
利息及び配当金の受取額	4,171	8,037
利息の支払額	△1,176	△2,039
法人税等の支払額	△294,678	△188,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	283,341	233,270
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△2,503	△2,517
有形固定資産の取得による支出	△529,172	△86,198
無形固定資産の取得による支出	△600	△635
その他	1,312	△49,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	△530,963	△139,323
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	100,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△200,000
配当金の支払額	△79,973	△59,984
少数株主への配当金の支払額	△10,113	△9,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	409,913	△169,438
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,825	3,580
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	168,116	△71,910
現金及び現金同等物の期首残高	2,720,889	3,604,701
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	39,988	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 2,928,995	* 3,532,790

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用 当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。</p> <p>(2) 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。 なお、これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。</p>

【表示方法の変更】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
(四半期連結損益計算書)	
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。	

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
1. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。



【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
※1. 有形固定資産の減価償却累計額は、12,275,561千円 であります。	※1. 有形固定資産の減価償却累計額は、12,155,536千 円であります。
※2. 無形固定資産には、のれん 57,269千円が含まれて おります。	※2. 無形固定資産には、のれん 61,360千円が含まれて おります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。	※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。
給料及び手当 272,012千円	給料及び手当 297,047千円
賞与引当金繰入額 124,029	賞与引当金繰入額 111,822
役員賞与引当金繰入額 2,912	役員賞与引当金繰入額 2,868
退職給付費用 52,711	退職給付費用 43,025
役員退職慰労引当金繰入額 5,919	役員退職慰労引当金繰入額 6,771
	貸倒引当金繰入額 4,313
※2. 法人税、住民税及び事業税、及び法人税等調整額に ついては、法人税等として一括して表示してありま す。	※2. 同左

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在) (千円)	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年6月30日現在) (千円)
現金及び預金勘定 2,928,995	現金及び預金勘定 3,532,790
現金及び現金同等物 2,928,995	現金及び現金同等物 3,532,790

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 10,000千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 3千株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月23日 定時株主総会	普通株式	59,978	6	平成22年3月31日	平成22年6月24日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社グループは単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高(千円)	681,427	130,163	41,174	54,166	906,932
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	3,773,693
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	18.1	3.4	1.1	1.4	24.0

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州…スイス、英国、フランス
- (3) 北米…米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内においては製品別の事業部門を置き、海外においては、中国・台湾等の各地域に独立した経営単位である現地法人を設立し、各事業部門及び各現地法人は、取り扱う製品等についての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

このことから、当社グループは、国内の製品別のセグメントである「調合香料事業」、「合成香料・ケミカル事業」と海外の現地法人からなる「海外事業」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	調合香料 事業	合成香料・ ケミカル事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,156,727	1,364,837	458,379	3,979,945	314,680	4,294,625
セグメント間の内部売上 高又は振替高	188,409	142,311	1,709	332,430	15,229	347,660
計	2,345,137	1,507,149	460,089	4,312,376	329,910	4,642,286
セグメント利益	300,389	92,481	75,488	468,358	24,654	493,012

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	468,358
「その他」の区分の利益	24,654
棚卸資産の調整額	△110,341
のれんの償却額	△4,090
その他の調整額	323
四半期連結損益計算書の営業利益	378,904

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(金融商品関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

デリバティブ取引の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(賃貸等不動産関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1. 1 株当たり純資産額

当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月30日)	前連結会計年度末 (平成22年 3 月31日)
1 株当たり純資産額 1,225円42銭	1 株当たり純資産額 1,209円60銭

2. 1 株当たり四半期純利益金額等

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額 10円91銭 なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額につ いては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1 株当たり四半期純利益金額 21円44銭 なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額につ いては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1 株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)
四半期純利益 (千円)	109,070	214,349
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	109,070	214,349
期中平均株式数 (千株)	9,996	9,996

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第 1 四半期連結会計期間 (自平成22年 4 月 1 日 至平成22年 6 月30日)

リース取引開始日が平成20年 3 月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について引き続き通常の貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っており、かつ、当該取引残高が、前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年8月3日

曾田香料株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	原 一浩	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	木村 聡	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年8月3日

曾田香料株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 原 一浩 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 木村 聡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成22年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。